

## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3853 URL <https://www.asteria.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 平野 洋一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,601	8.7	19	△94.1	72	△67.1	6	△95.6	6	△95.6	△56	—
2018年3月期第2四半期	1,474	89.9	319	143.3	219	61.0	130	47.8	130	47.8	377	144.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	0.35	0.34
2018年3月期第2四半期	7.87	7.82

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	6,866	5,138	5,138	74.8
2018年3月期	7,560	5,634	5,634	74.5

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	15.8	250	△57.7	250	△43.7	150	23.9	9.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	17,491,265株	2018年3月期	17,480,165株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	899,041株	2018年3月期	543,885株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	16,550,956株	2018年3月期2Q	16,542,557株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（社名変更）2018年6月23日開催の第20回定時株主総会の決議により、2018年10月1日から社名をインフォテリア株式会社からアステリア株式会社に変更しております。

（四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、後日当社ウェブサイトで公開する予定です。

2018年11月12日（月） 11：00～12：00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(後発事象) .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月～9月)における当社グループの業績は、前年同期比で増収減益となりました。主力製品である「ASTERIA Warp」、「Handbook」に加え、2017年4月の買収により100%子会社としたThis Place社が提供するデザインサービスも引き続き成長し、第2四半期連結累計期間として売上収益は過去最高となりました。一方で、グループ全体で将来に向けた人材獲得や製品機能強化に対する投資を戦略的に増加させたことに加え、デザインサービスの成長に伴う人件費およびThis Place社買収にかかるアーンアウト(成果報酬型買収対価)の増加により、営業利益および四半期利益は減少しました。

なお、当第2四半期連結累計期間においては、北海道東部地震による被災企業・団体の復興支援を目的とし、当社製品「Handbook」、「Platio」の無償提供を行うなど、社会貢献にも引き続き力を入れています。

当第2四半期連結累計期間(以下、「当第2四半期」)における連結業績は以下の通りです。

区分	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
売上収益	1,473,606千円	1,601,177千円	8.7%増
営業利益	319,224千円	18,945千円	94.1%減
税引前四半期利益	219,080千円	72,017千円	67.1%減
親会社の所有者に帰属する四半期利益	130,251千円	5,775千円	95.6%減

ビジネスユニット別の売上状況は以下の通りです。

ビジネスユニット	売上	内容
エンタープライズ	774,707千円 (前年同期比： 104.6%)	本ビジネスユニットは、データ連携ミドルウェア「ASTERIA Warp」(アステリア ワープ)事業とAI搭載IoT統合エッジウェア「Gravio」(グラヴィオ)事業を展開しています。「ASTERIA Warp」の売上は、主としてライセンス売上とサポート売上(ライセンス料の15%(年額))によって構成されています。また、月額利用料型売上(売上区分では「サブスクリプション」に計上、以下同様)も包含します。「Gravio」の売上は、サービスの月額利用料です。
ネットサービス	142,784千円 (前年同期比： 108.4%)	本ビジネスユニットは、モバイル向けコンテンツ管理システム「Handbook」(ハンドブック)事業とモバイルアプリ制作プラットフォーム「Platio」(プラティオ)事業を展開しています。「Handbook」の売上は、主としてサービスの月額利用料(年間契約も12ヶ月に配賦計上)ですが、過去に販売したライセンス版(オンプレミス)に対するサポート売上が若干含まれています。「Platio」の売上は、サービスの月額利用料です。
デザイン	677,304千円 (前年同期比： 113.9%)	本ビジネスユニットは、顧客企業のブランディング戦略のコンサルティング、ウェブやモバイルアプリのデザインに関するコンサルティング、開発支援等を提供しています。
その他	6,381千円 (前年同期比： 92.9%)	上記のほか、「SnapCal」、「lino」、「ExtenXLS」などが存在します。「SnapCal」、「lino」は世界市場調査を兼ねた製品で、ほとんどは無料版での提供ですが、ユーザーの7割以上が海外です。「ExtenXLS」は2011年に買収した米国企業の製品で、新規ユーザーへの販売は行っていないものの、買収当時のユーザーからの継続的なライセンス売上が存在します。

当第2四半期連結累計期間における、売上区分別の経営成績の分析は以下の通りです。

	売上収益	前年実績	前年同期比
	310,222千円	308,025千円	100.7%
	定性的情報		
ライセンス	<p>ライセンス売上は、当社ソフトウェアの半永久的使用権の対価です。そのため、季節変動や企業のIT投資の状況の影響を受け易く、他の売上区分に比較して売上が安定しないという特徴があります。</p> <p>当第2四半期においてはRPAテクノロジーズ株式会社が提供する「BizRobo」専用アダプターがパートナー企業によって開発され、「ASTERIA Warp」とRPA(※1)の連携が強化されました。働き方改革やRPAに対する関心の高まりを背景に、業務の自動化を実現する「ASTERIA Warp」そのものも注目を集めています。また、「ASTERIA Warp」の新規導入事例として、株式会社アダストリア様、株式会社イープラス様、スターティアホールディングス株式会社様、株式会社サイバーエージェント様を公開するなど導入企業数は順調に増加しており、2018年9月末における累計導入社数は7,267社となりました。</p> <p>また、市場シェアは12年連続No.1(※2)を記録しております。</p> <p>このような活動の結果、ライセンス売上収益は、前年同期比で100.7%となりました。</p>		
	売上収益	前年実績	前年同期比
	178,406千円	154,449千円	115.5%
	定性的情報		
サブスクリプション	<p>サブスクリプション売上は、当社のソフトウェアを月額使用料型で提供するサービスによる売上で、現在「Handbook」、「ASTERIA WARP」、「Gravio」、「Platio」の4つの製品で構成されています。</p> <p>「Handbook」は、主に企業や教育機関で活用されています。当第2四半期においては、現場に対する営業・販売力強化のツールとしての活用が進み、契約件数は累計1,460件と着実に伸張しています。その結果、モバイルコンテンツ管理市場の4つのカテゴリでNo.1のシェアを獲得(※3)しております。また、今後は営業人員の人手不足の解決策として注目を集めているSales Tech(セールステック:営業とテクノロジーの融合)の分野での展開を進める方針です。その他、ユーザー向けのサポートサイトの情報量を充実させ、利用の定着を押し進めることで安定した成長を図っています。</p> <p>「ASTERIA Warp」のサブスクリプション売上には、「ASTERIA Warp」と同等の機能を使用可能なものと、基本的な機能に絞り中小企業を含む多様な用途に利用が可能な「ASTERIA Warp Core」があります。この「ASTERIA Warp Core」を専門で取り扱うASTERIAサブスクリプションパートナーの数は順調に増加しており、当第2四半期においては株式会社ビズオーシャン、株式会社ネオシステムとパートナー契約を締結し、合計34社となりました。このような活動の結果、これらの売上は、前期比で428.8%と大幅に伸長しました。</p> <p>「Gravio」の売上はまだ僅少ですが、ハードウェアベンダーや販売代理店との協業を進め、中長期的に大きな柱に成長させるために、当第2四半期においては積極的なマーケティングの準備を行いました。</p> <p>「Platio」は、従来のIoTでの利用促進に加え、企業内での業務効率化アプリ開発ツールとしての展開を推進しています。また、「Handbook」の契約ユーザー向けをはじめ、当社の顧客に対するクロスセルの販売施策を展開するなど、ターゲットを拡大し新たな契約獲得のための活動も行い複数の事例を獲得、翌四半期には公開の予定です。</p> <p>このような活動の結果、サブスクリプション売上収益は前年同期比115.5%となりました。</p>		

サポート	売上収益	前年実績	前年同期比
	431,464千円	409,591千円	105.3%
	定性的情報		
	<p>サポート売上は、既存のお客様から製品のサポート（技術支援、製品の更新など）を行う対価をいただく売上です。そのため、季節変動を受けにくく、上場以来一貫して安定成長をしています。当社では、サポート売上の着実な伸張のために、ユーザーコミュニティであるAUG（ASTERIA User Group）の交流イベントを開催するほか、インフォテリアポイント（10月よりアステリアポイントに名称変更）サービスを引き続き提供するなど、サポート契約をいただいているお客様の満足度向上を図っています。</p> <p>このような活動の結果、サポート売上収益は前年同期比105.3%となりました。</p>		
サービス	売上収益	前年実績	前年同期比
	681,085千円	601,540千円	113.2%
	定性的情報		
	<p>サービス売上は、「デザインサービス」、「教育サービス」の2つのサービスで構成されています。</p> <p>「デザインサービス」は、前期におけるThis Place社の買収の結果、提供を開始したサービスで、顧客企業のブランディング戦略のコンサルティング、ウェブやモバイルアプリのデザインに関するコンサルティング、開発支援を行っています。当第2四半期においても、米国大手携帯キャリア企業や欧州大手のスーパーマーケットチェーン企業へ引き続きサービスを提供しています。</p> <p>「教育サービス」は、当社が当社製品の研修を提供するものです。</p> <p>このような活動の結果、サービス売上収益は、前年同期113.2%となりました。</p>		
合計	売上高	前年実績	前年同期比
	1,601,177千円	1,473,606千円	108.7%

※1：RPA＝[Robotic Process Automation] ルールエンジン、機械学習、人工知能などの認知技術を活用した、オフィス業務の効率化や自動化に向けた取り組み。

※2：株式会社テクノ・システム・リサーチ「2018年ソフトウェアマーケティング総覧EAI/ESB市場編」

※3：株式会社アイ・ティ・アール「ITR Market View：ユニファイド・エンドポイント管理市場2018」

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び資本の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ693,452千円減少し、6,866,192千円となりました。このうち、流動資産は808,873千円減少し、3,834,926千円となり、非流動資産は115,421千円増加し、3,031,266千円となりました。これらの主な要因は、流動資産において、営業債権及びその他の債権が201,750千円増加に対し、現金及び現金同等物が950,660千円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ197,788千円減少し、1,728,242千円となりました。このうち、流動負債は100,232千円減少し、1,028,391千円となり、非流動負債は97,556千円減少し、699,851千円となりました。これらの主な要因は、流動負債において未払法人所得税等が81,014千円減少したことによるものです。

#### (資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本は、前連結会計年度末に比べ495,665千円減少し、5,137,950千円となりました。この主な要因は、自己株式が456,219千円増加したことによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より950,660千円減少し3,268,617千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は239,734千円(前年同期547,832千円の獲得)となりました。主に営業債権及びその他の債権の増加額200,237千円に対し、税引前四半期利益72,017千円、減価償却及び償却費70,836千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は373,353千円(前年同期815,421千円の使用)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出119,028千円、投資の取得による支出171,608千円および子会社株式の取得による支出74,260千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は460,190千円(前年同期1,958,468千円の獲得)となりました。主に新株の発行(新株予約権の行使)138,359千円に対し自己株式の取得による支出502,152千円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年6月18日に公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

( 1 ) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,219,277	3,268,617
営業債権及びその他の債権	295,830	497,580
棚卸資産	78,952	31,733
その他の流動資産	49,740	36,996
流動資産合計	4,643,799	3,834,926
非流動資産		
有形固定資産	93,551	186,254
のれん	1,383,073	1,379,822
無形資産	220,701	175,676
持分法で会計処理されている投資	110,321	113,802
その他の金融資産	998,640	1,059,141
繰延税金資産	—	1,843
その他の非流動資産	109,560	114,728
非流動資産合計	2,915,845	3,031,266
資産合計	7,559,644	6,866,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2018年 9 月 30 日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	100,000	100,000
営業債務及びその他の債務	145,839	116,114
未払法人所得税等	201,952	120,938
その他の流動負債	680,832	691,340
流動負債合計	1,128,623	1,028,391
非流動負債		
引当金	19,337	19,350
繰延税金負債	92,423	66,616
その他の金融負債	685,450	613,374
その他の非流動負債	196	510
非流動負債合計	797,407	699,851
負債合計	1,926,030	1,728,242
資本		
資本金	2,268,414	2,275,343
資本剰余金	2,492,725	2,604,026
自己株式	△247,084	△703,303
その他の資本の構成要素	181,722	119,941
利益剰余金	937,838	841,943
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,633,615	5,137,950
資本合計	5,633,615	5,137,950
負債及び資本合計	7,559,644	6,866,192

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上収益	1,473,606	1,601,177
売上原価	345,524	757,658
売上総利益	1,128,081	843,518
販売費及び一般管理費	803,779	824,484
その他の収益	3,578	3,449
その他の費用	8,657	3,537
営業利益	319,224	18,945
金融収益	4,349	49,427
金融費用	101,047	216
持分法による投資損益	△3,445	3,860
税引前四半期利益	219,080	72,017
法人所得税費用	88,829	66,241
四半期利益	130,251	5,775
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	130,251	5,775
四半期利益	130,251	5,775
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	7.87	0.35
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	7.82	0.34

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	130,251	5,775
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	63,343	△89,151
純損益に振り替えられることのない項目合計	63,343	△89,151
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	183,456	27,369
持分法適用会社に対する持分相当額	△90	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	183,365	27,369
その他の包括利益合計	246,708	△61,781
四半期包括利益	376,959	△56,006
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	376,959	△56,006
四半期包括利益	376,959	△56,006

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
	千円	千円	千円	千円	千円
2017年4月1日時点の残高	1,138,467	1,047,486	△66,251	6,779	△22,163
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	183,365	63,343
四半期包括利益合計	—	—	—	183,365	63,343
新株の発行(新株予約権の行使)	1,129,947	1,129,947	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△199,959	—	—
自己株式の処分	—	—	22,148	—	—
自己株式処分差益	—	117,262	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	57,275	—	—	—
所有者との取引額合計	1,129,947	1,304,484	△177,811	—	—
2017年9月30日時点の残高	2,268,414	2,351,969	△244,062	190,145	41,180
2018年4月1日時点の残高	2,268,414	2,492,725	△247,084	159,456	22,266
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	27,369	△89,151
四半期包括利益合計	—	—	—	27,369	△89,151
新株の発行(新株予約権の行使)	6,930	6,930	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△499,902	—	—
自己株式の処分	—	—	43,682	—	—
自己株式処分差益	—	81,067	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	23,304	—	—	—
所有者との取引額合計	6,930	111,301	△456,219	—	—
2018年9月30日時点の残高	2,275,343	2,604,026	△703,303	186,825	△66,885

	親会社の所有者に帰属する持分			資本合計
	合計	利益剰余金	合計	
	千円	千円	千円	
2017年4月1日時点の残高	△15,384	769,236	2,873,553	2,873,553
四半期利益	—	130,251	130,251	130,251
その他の包括利益	246,708	—	246,708	246,708
四半期包括利益合計	246,708	130,251	376,959	376,959
新株の発行(新株予約権の行使)	—	—	2,259,894	2,259,894
自己株式の取得	—	—	△199,959	△199,959
自己株式の処分	—	—	22,148	22,148
自己株式処分差益	—	—	117,262	117,262
配当金	—	△57,911	△57,911	△57,911
株式に基づく報酬取引	—	—	57,275	57,275
所有者との取引額合計	—	△57,911	2,198,709	2,198,709
2017年9月30日時点の残高	231,324	841,576	5,449,222	5,449,222
2018年4月1日時点の残高	181,722	937,838	5,633,615	5,633,615
四半期利益	—	5,775	5,775	5,775
その他の包括利益	△61,781	—	△61,781	△61,781
四半期包括利益合計	△61,781	5,775	△56,006	△56,006
新株の発行(新株予約権の行使)	—	—	13,859	13,859
自己株式の取得	—	—	△499,902	△499,902
自己株式の処分	—	—	43,682	43,682
自己株式処分差益	—	—	81,067	81,067
配当金	—	△101,670	△101,670	△101,670
株式に基づく報酬取引	—	—	23,304	23,304
所有者との取引額合計	—	△101,670	△439,659	△439,659
2018年9月30日時点の残高	119,941	841,943	5,137,950	5,137,950

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	219,080	72,017
減価償却及び償却費	88,893	70,836
金融収益	△4,349	△37,371
金融費用	10,193	216
持分法による投資損益(△は益)	3,445	△3,860
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	92,032	△200,237
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	31,244	△31,126
その他	127,609	7,875
小計	568,147	△121,651
利息及び配当金の受取額	4,988	22,674
利息の支払額	△1,151	△284
法人所得税の支払額	△24,152	△140,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	547,832	△239,734
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△400,000	—
有形固定資産の取得による支出	△18,699	△119,028
有形固定資産の売却による収入	1,583	239
無形資産の取得による支出	—	△620
無形資産の売却による収入	—	816
投資の取得による支出	△99,750	△171,608
投資の払い戻しによる収入	—	25,645
投資有価証券の償還による収入	300,000	—
子会社株式の取得による支出(取得時の現金受入額控除後)	△640,940	—
子会社株式の取得による支出	—	△74,260
その他	42,386	△34,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	△815,421	△373,353
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33,332	—
新株の発行(新株予約権の行使)による収入	2,250,100	138,359
その他の金融負債の発行による収入	—	6,410
その他の金融負債の返済による支出	—	△1,884
自己株式の取得による支出	△201,078	△502,152
配当金の支払額	△57,222	△100,776
その他	—	△148
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,958,468	△460,190
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,690,879	△1,073,277
現金及び現金同等物の期首残高	1,740,175	4,219,277
現金及び現金同等物の為替変動による影響	52,479	122,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,483,534	3,268,617

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ソフトウェア製品の企画、開発、販売、サポート、教育並びに、これらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。